

令和 3 年度 第 3 回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時	令和 3 年 1 1 月 1 9 日 (金) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 2 0	
場 所	WEB 会議 / 議長 琉球大学医学部 管理棟 3 階 大会議室	
構 成 員	3 0 名 (欠席者 5)	
1 号委員	(琉大病院長)	大屋 祐輔
2 号委員	(県立中部病院長) (那覇市立病院長)	玉城 和光 (代理) 外間 浩
3 号委員	(県立宮古病院長) (県立八重山病院長) (北部地区医師会病院長)	本永 英治 (欠席) 篠崎 裕子 (代理) 諸喜田 林
4 号委員	(沖縄県医師会長)	安里 哲好
5 号委員	(沖縄県歯科医師会長)	米須 敦子 (代理)
6 号委員	(沖縄県薬剤師会長)	前濱 朋子
7 号委員	(沖縄県看護協会会長)	平良 孝美 (欠席)
8 号委員	(沖縄県政策参与)	対象者なし (構成員外)
9 号委員	(沖縄県保健医療部長)	大城 玲子 (欠席)
1 0 号委員	(琉大がんセンター長)	増田 昌人
1 1 号委員	(琉大がんセンター運営委員会委員長)	青木 陽一
1 2 号委員	(琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生 (代理)
1 3 号委員	(琉大薬剤部長)	中村 克徳
1 4 号委員	(琉大看護部長)	眞栄城 智子
1 5 号委員	(琉大事務部長)	鬼村 博幸 (欠席)
1 6 号委員	(県立中部病院副病院長) (県立中部病院血液腫瘍内科部長) (那覇市立病院外科統括科部長) (那覇市立病院外科部長)	前田 純子 朝倉 義崇 宮里 浩 友利 寛文 (代理)
1 7 号委員	(県立宮古病院外科部長) (県立宮古病院副院長) (県立八重山病院消化器内科部長) (県立八重山病院副院長) (北部地区医師会病院副院長) (北部地区医師会病院看護部長)	松村 敏信 見里 悟美 菊池 馨 平良 美江 (欠席) 柴山 順子 我如古 春美
1 8 号委員	(沖縄県がん患者会連合会事務局長) (ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長) (サバイバーナースの会「ピアナース」代表) (パンキャンジャパン沖縄アフィリエート)	安里 香代子 眞栄里 隆代 上原 弘美 島袋 百代
1 9 号委員	(国際医療福祉大学大学院教授) (一般社団法人グループ・ネクサス理事長) (琉球新報編集局次長・報道本部長)	埴岡 健一 天野 慎介 島 洋子
2 0 号委員	(琉大病院病理部長) (琉大病院小児科講師) (那覇市立病院放射線科部長)	加留部 謙之輔 百名 伸之 足立 源樹
陪 席 者	沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班 沖縄県教育庁保健体育課長 県立中部病院放射線治療センター長	新垣 真太郎 城間 敏生 戸板 孝文
(以下、Z o o m 傍聴申込)		
ハートライフ病院、琉球新報社、沖縄タイムス社、ほか		

資料確認等

1. 令和3年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(10月11日開催)
2. 令和3年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(8月6日開催)
3. 令和3年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事録(8月6日開催)
4. 協議会・幹事会委員一覧
5. 令和3年度の協議会・幹事会・部会の開催の日時について
増田委員(10号委員)から資料について確認があった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員(19号委員)から資料6に基づき、人口動態、需要推計、需給ギャップ、医療圏間の患者移動など関連するデータデータを用い、今後20年先の沖縄県のがん診療に関する需給バランスについて報告があった。

なお、提示されたデータから、沖縄県は人口増加が続くことで少子高齢化比率は全国に比べ遅れることから、20年後はがん診療の需要が大幅に増えることが予想されるため、現在の需要、未来の需給バランスを調整することでギャップを生じさせないようがん医療提供体制のあり方や、がん医療の提供体制の再構築が必要となるとの見解が示された。

2. 天野委員報告

天野委員(19号委員)から資料7に基づき、がん研究における患者・市民参画(PPI)の現状について直近の取組について、以下3件の報告があった。

- ①令和4年2月17日～19日にかけて、第19回日本臨床腫瘍学会学術集会において、一般社団法人全国がん患者団体連合会が共催して提供するプログラムとして、ペイシェント・アドボケイト・プログラム(PAPプログラム)を開催する。
- ②令和3年11月28日、令和4年1月16日に、国立がんセンター東病院と一般社団法人全国がん患者団体連合会が共催し、がんゲノム医療に関しての一般向けの意見交換会を開催する。
- ③令和3年12月5日に、J-SUPPORTと一般社団法人全国がん患者団体連合会が共催する研究成果報告会を開催する。

審議事項

第3次沖縄県がん対策推進計画(2018～2023)の中間評価をロジックモデル化した資料8-1、2を用いて以下の2分野を審議した。また、本協議会の意見として沖縄県へ提出することとなった。

(1) 「医療提供体制」分野

増田委員から資料8-1に基づき、沖縄県第3次がん計画に準じた「医療提供体制」分野のロジックモデルの説明があった。

また、各指標等について、以下のとおり質疑応答がなされた。

(主な質疑応答)

Q1. 肺がんや肝臓がんの5年生存率が低い。

A1. 沖縄県では他の都道府県と比較しがん全般において進行して発見されることが多いことや、肺がんについては、より専門性の高い医療機関での診療を行っていくことを周知することが望まれる。

Q2. がんゲノムの対象者が少ない。

A2. 自己負担が大きいことも要因の1つではないか。

(2) 「在宅医療」分野

増田委員から資料8—2に基づき、沖縄県第3次がん計画に準じた「在宅医療」分野のロジックモデルの説明があった。また、在宅医療については、がんに特化しないが県の第7次医療計画でも掲載されていることから、両方の計画が含まれているとの補足があった。

報告事項

1. 患者会からの要望書に関する対応について

増田委員から資料9に基づき、患者会3団体から本協議会への要望書について経緯の確認及び進捗報告があった。

(今回報告のあった項目)

- ・離島患者の渡航費助成制度について、県全体の状況報告があった。
- ・WEBを利用したセカンドオピニオンについて、県内6つの拠点病院では実施されていないが、琉球大学病院では対応方法を検討するためのワーキンググループが立ち上がっている。

2. 第3次沖縄県がん対策推進計画(2018～2023)の中間評価について

沖縄県健康長寿課新垣氏から、第3次沖縄県がん対策推進計画(2018～2023)の中間評価について、進捗の遅れについて報告があった。

3. 沖縄県におけるがん対策費について(平成28年度～令和3年度の予算及び決算の推移)

沖縄県健康長寿課新垣氏から、資料10に基づき、沖縄県におけるがん対策費について(平成28年度～令和3年度の予算及び決算の推移について報告があった。

4. 患者会よりの報告

安里委員報告

安里里委員(18号委員)から資料11—(1)に基づき、コロナ禍のため、電話等での活動で得たがん患者の生の意見・要望として報告された。

上原委員報告

上原委員(18号委員)から資料11—(2)に基づき、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2020うらそえ」について活動報告があった。

5. がん教育について

沖縄県教育庁の代理として増田委員から、資料12に基づき、がん教育の進捗状況について報告があった。

6. グループ指定病院の定期的なカンファレンスについて

増田委員から、資料13に基づき、北部地区医師会と琉球大学、県立中部病院と八重山病院及び宮古病院の定期的なカンファレンスについて報告があった。

7. がんゲノム医療について

増田委員から、資料14に基づき、北部地区医師会と琉球大学、県立中部病院と八重山病院及び宮古病院の定期的なカンファレンスについて報告があった。

(以下については、紙面報告となった)

8. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

9. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

10. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

1 1. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

- (1) 第17回厚生科学審議会がん登録部会
 - (2) 第69回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会
 - (3) 第5回全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会
 - (4) 第33回がん検診のあり方に関する検討会
 - (5) 第2回がんの緩和ケアに係る部会 資料
 - (6) 第2回第8次医療計画等に関する検討会
 - (7) 第76回がん対策推進協議会
 - (8) 第13回がん診療提供体制のあり方に関する検討会
- 増田委員から資料11－(1)～(5)、(7)～(8)に基づき、厚労省におけるがん関連審議会及び各種会議についての報告があった。
- また、資料11－(6)について、本会の構成員である大屋議長から状況報告があった。

1 2. その他

増田委員（10号委員）から、本会及び本会幹事会での協議事項又は報告事項があれば、本協議会担当まで連絡するよう案内があった。

部会報告事項

（以下については、紙面報告となった）

- 1. 医療部会**
- 2. 緩和ケア・在宅医療部会**
- 3. 小児・AYA部会**
- 4. 離島・へき地部会**
- 5. 情報提供・相談支援部会**

以上